

日本国際保健医療学会 自由集会

集会名： 薬剤師のキャリアパスを考えるー産業薬剤師（仮称）と渡航医学

日時： 2025 年 11 月 2 日 （日） 17:00～18:00 （帝京大学板橋キャンパス）

企画： 帝京大学 薬学部 環境衛生学研究室 教授 山本秀樹
（日本国際保健医療学会 大会長）

座長： 昭和薬科大学 公衆衛生学研究室 准教授 庄野あい子（日本国際保健医療学会）

演者： 帝京大学病院 薬剤部 長谷川充 （日本渡航医学会・理事）

国際保健の分野で、UHC（ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ）を達成するために、品質の高い医薬品の供給・適切な管理は重要であり、薬剤師の役割が期待されている。一方、全国に 60,000 軒以上あり、誰もが立ち寄ることができる薬局やドラッグストアに勤務する薬剤師が、訪日・在留外国人および、外国への渡航者に対して担える役割は大きい。今後、日本と外国の往来が増えることが見込まれており、一時的な対処薬に加え、感染症予防や慢性疾患の治療継続など、出身国（地域）・訪問国（地域）の背景に応じた対応が必要となる。よってすべての薬剤師に国際保健の見識が求められる。国際保健に加えて産業保健や渡航医療との接点を考えると、国や地域を超える人々を支える具体的な薬剤師の役割やキャリアパスが見えてくる。例えば、企業や援助機関が職員派遣を行う際のワクチン接種や感染予防策、慢性疾患等の治療薬の携行や服薬継続、注意すべき副作用など、服薬支援に関して役割を担うことができる。また、疾病予防の推進や相談を行う「産業薬剤師（仮称）」の取り組みが一部企業・地域で行われている。地域の産業薬剤師による具体的活動として、小規模事業所（産業医の選任義務がない小規模の企業）における健診・検診の支援、労働と治療の両立支援、化学物質管理などを通じて働く世代の健康支援を目指している（鹿児島産業薬剤師チーム：K-OPT）。今後、海外派遣労働者や外国人労働者への健康の保持・増進における役割が考えられる。本自由集会では、渡航医学についての講演に続き、参加者（薬剤師以外の多職種の参加を歓迎）との意見交換を行い、薬剤師が果たすべき役割について考える。

＊ 本集会に参加するには、大会に参加登録することが必要です。

（以下 QR コードより、9 月末迄早期登録）

＊ 薬剤師研修センターの認定薬剤師研修の単位が取得可能。



問い合わせ先

第 40 回 日本国際保健医療学会 大会事務局

プライムインターナショナル (40jagh@pco-prime.com)

帝京大学 薬学部環境衛生学研究室 山本秀樹/立山由紀子

(kankyoeisei3@gmail.com)